

かわいさ、何とも言えない

アヒルは、実家の庭で犬と一緒に飼っていたので、なじみ深い動物でした。意外にきれいな好きで、手がかからない。それに、「何？」と、まるで怪しいものを見るような斜め視線がキュートだね。

最近、小さな池のある庭付きマンションに引っ越して、池をどう活用しようかと考えた。そうだ、アヒル!と思いつき、インターネットで探すと、ラッキーなことに関東地方に住むご家族が、つがいの里親を募集していたんです。

連絡をとると、すぐに2羽を連れて来てくれた。名前は、アヒルの語呂合わせで雌を「まひる」と決めた。そして、たまあ、雄は「よなか」か

かぞくの肖像

♥ 井上 道義さん

🐾 まひるとよなか

なつて。

彼らは、最初は私を見ると逃げていたけれど、煮干しなどエサをあげる時は寄ってくるようになって、今では何もあげなくても私の後をついて回るようになりました。

国内外を演奏活動で飛び回っているの、家で過ごす時間は貴重です。僕は庭いじりが好きなので、草木の手入れをしながら、アヒルと遊ぶのが良い息抜きになる。お尻だけ出して池に体半分潜ってるしぐさなんて、何とも言えずかわいいですよ。

それから、胃も満たしてく

れる。よく卵を産みます。

いわゆるピータンに使われる卵で、私は目玉焼きにしてますけどね。美味です。

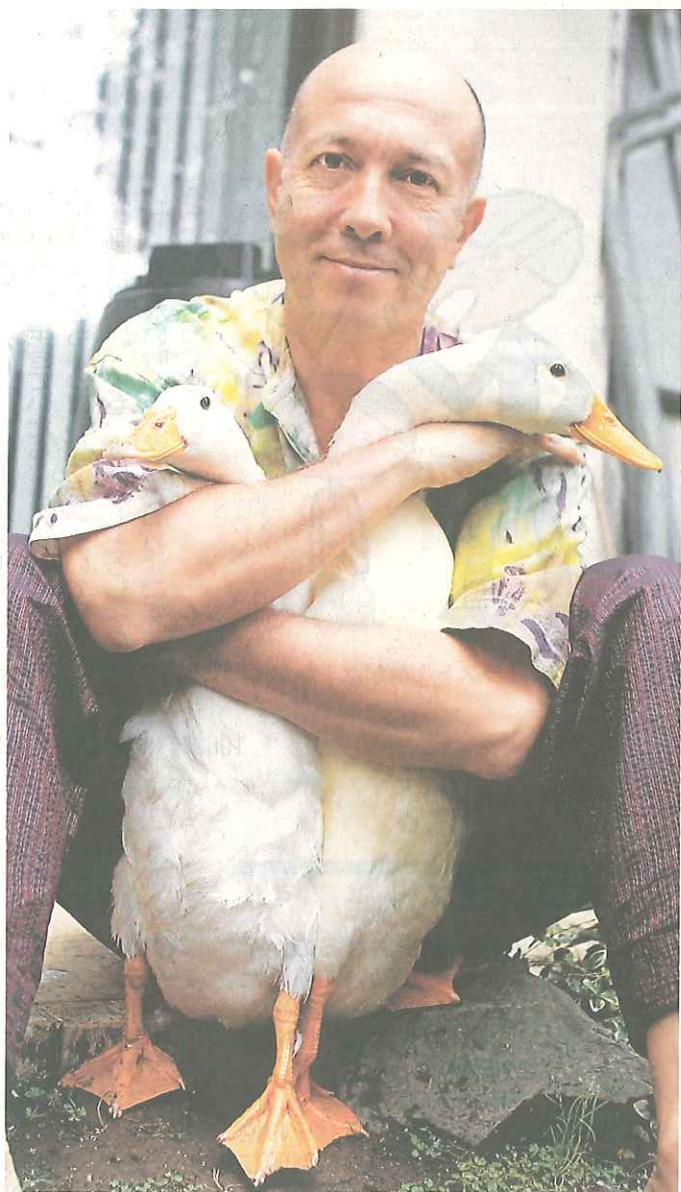
犬のように心が通じてそばに寄り添う動物ではないけれど、この距離感、面白さ、かわいさは、はまるとなかなかのもの。

セルゲイ・プロコフィエフが子どものための音楽作品として作曲した「ピーターと狼」の中に、アヒルが登場します。今度演奏するときは、出演させようかな。

聞き手 山内深紗子

写真 蛭田 真平

井上 道義さん 46年、東京生まれ。指揮者。新日本フィル、京都市響などの音楽監督を経て、07年からオーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督を務める。



■まひる、よなかはアヒル。ともに1歳。